

CLOCKSSの概要

NII

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics

National Institute of Informatics

2009年6月12日

デジタル保存

- ▶ 図書館は印刷物からオンラインのみのジャーナルに移行。
- ▶ 電子リソースは「所有」からアクセスの「許可」へ。
- ▶ 図書館は、購読資料が安全かつ長期にわたってアクセス可能であるという保証が必要。
- ▶ 選択肢：
 - ▶ 第三者機関への委託
 - ▶ コミュニティが管理するアーカイブへの参加



CLOCKSSとは？

- ▶ 恒久的なアーカイブ
 - ▶ 一旦、保存されたコンテンツはアーカイブから撤回することはできない。
- ▶ 地理的、国家的、地質学的に異なる様々な図書館にアーカイブされる。
- ▶ CLOCKSSは出版社と図書館による共同事業で、参加機関は共有資産（アーカイブ）の運営を分担する。



アーカイブへのアクセス

- ▶ いかなる出版社からも入手不可能となったコンテンツを、アーカイブから復元し、Web上であらゆる人が自由に入手できるようにする。
 - ▶ これを、コンテンツ公開の「トリガー」イベントという。
- ▶ これまでに3件のタイトルがトリガーされ、オープンアクセスとして入手可能になっている。



最近トリガーされたタイトル

Brief Treatment and Crisis Intervention
(Oxford University Press)

Auto/Biography
(SAGE Publications)

Graft: Organ and Cell Transplantation
(SAGE Publications)



The screenshot shows the CLOCKSS website interface. At the top, there are navigation links for 'Home', 'Participate', and 'Contact Us', along with a search bar. Below the navigation is a banner with four images: a classical building, a chalkboard with mathematical equations, a globe, and a statue. The main content area is titled 'TRIGGERED CONTENT' and lists three items:

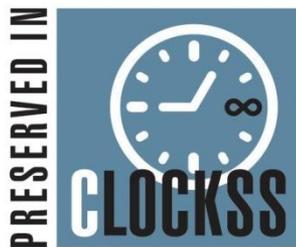
- Brief Treatment and Crisis Intervention**: Oxford University Press decided to discontinue its journal *Brief Treatment and Crisis Intervention* in 2008. This represents the CLOCKSS Archive's third trigger event. To access *Brief Treatment and Crisis Intervention*, click here.
- Auto/Biography**: When SAGE Publications announced it was discontinuing *Auto/Biography*, CLOCKSS experienced its second trigger event, and the CLOCKSS Board voted to release the content from the Archive, and made the *Auto/Biography* volumes available for free to all. To access *Auto/Biography*, click here.
- Graft: Organ and Cell Transplantation**: CLOCKSS invites the public to view all the SAGE-published *Graft* issues preserved in the CLOCKSS Archive. To access *Graft*, click here.

On the right side, there are two sidebars: 'NAVIGATION' and 'VIEWS'. The 'NAVIGATION' sidebar includes links for Home, Benefits of Participating in CLOCKSS, How CLOCKSS Works, Frequently Asked Questions, News, How to Participate, Participating Libraries, Participating Publishers, Board of Directors, Triggered Content, LOCKSS (Lots of Copies Keep Stuff Safe). The 'VIEWS' sidebar includes links for Article, Discussion, Edit, History, Protect, Restrict, Delete, Move, and Watch.



CLOCKSSの技術

- ▶ LOCKSS (Lots of Copies Keep Stuff Safe) 技術を応用。
- ▶ 図書館の既存のインフラ基盤を活用。これらの図書館は長年にわたって、世界的ネットワークにおいてアーカイブの「ノード（接続ポイント）」としての機能を果たしている。
- ▶ アーカイブされたコンテンツは、継続的かつ自動化されたプロセスを介して（データのチェックや修復を行いつつ）保存される。



補完システム

LOCKSS

ローカル・アクセス

400以上の出版社がLOCKSSに参加。

出版社のサイトからコンテンツが入手できなくなると、図書館はLOCKSSに保存したコピーにアクセス。

図書館の購読タイトルへの契約解除後のアクセス、およびWeb上で入手できなくなったコンテンツへのオープンアクセスを保証。

CLOCKSS

包括的

CLOCKSSのアーカイブノードは、図書館の購読タイトル・非購読タイトルを問わず、コンテンツを収集、保存。

トリガー・イベントが発生したと考えられる場合、あらゆる人にアクセスを提供。



ビジネスモデル

- ▶ 安価な運用コストにより、あらゆる規模・予算の図書館がCLOCKSSに参加することが可能。
- ▶ リース契約や購読型のモデルではない。
- ▶ 年間の負担金は図書館の資料購入費に基づいて算出（\$450～\$15,000）。
- ▶ 景気低迷の折り、デジタル保存へのリスクを軽減できるよう、寄付を募っている。



ユニークな管理体制

- ▶ 従来の図書館の役割（出版物の管理人）と同様。アーカイブは第三者ではなく、アーカイブの受益者によって管理。
 - ▶ 将来的には3階層の管理体制
 - ▶ Executive Committee
 - ▶ Board of Directors
 - ▶ Advisory Council
- ▶ 出版社と図書館は、トリガーコンテンツ公開のタイミング、手続き、優先事項を決定するうえで、同等の発言権を持つ。



参加出版社

- ▶ American Academy of Pediatrics
- ▶ American Institute of Physics
- ▶ American Medical Association
- ▶ American Physiological Society
- ▶ bepress
- ▶ Elsevier
- ▶ IOP Publishing
- ▶ Nature Publishing Group
- ▶ Oxford University Press
- ▶ Royal Society of Chemistry
- ▶ SAGE Publications
- ▶ Springer
- ▶ Taylor & Francis
- ▶ Wiley-Blackwell



CLOCKSS支援のお願い

「図書館はこれまで自館のコレクションを保有してきましたが、これから先の将来に向けて、その資産を守らなければなりません。私たちはこの課題に対して、さらに力を入れていく必要があります。CLOCKSSは、コミュニティとしてこの課題に対応するための手段を提供してくれるのです。」

-- Patricia A. Steele,

Ruth Lilly Dean of University Libraries,
Indiana University

